

## 先進林業機械改良・新作業システム開発事業（継続）

【平成24年度概算決定額 39,205（68,672）千円】

### 事業のポイント

導入・改良された先進林業機械を現地の作業条件に適合するよう更なる改良を行うとともに、普及・定着を図るため、現地検討会等を実施します。

### <背景/課題>

- ・ 利用間伐を推進し、森林施業のコスト低減を図るためには、現場に導入・改良された先進林業機械を実際に稼働させた上で、地域の作業条件に適合するよう更なる改良を加える必要があります。
- ・ 先進林業機械などを取り入れた生産性の高い作業システムを普及させることが課題となっています。

### 政策目標

素材生産量に占める高性能林業機械を使用した生産量の割合を平成27年度に6割へ拡大（3割（平成16年）→6割（平成27年））

### <内容>

#### 1. 先進林業機械を活用した現地検討会等の実施

先進林業機械の普及・定着を図るため、機械のデモンストレーション等による現地検討会やシンポジウムを実施します。

#### 2. 先進林業機械を導入した作業システムの評価

先進的な林業機械を導入している事業体を対象として、その作業システムの生産性、コスト等に関する統一的・横断的な検証、分析、評価を実施します。またこの結果を先行事例としてとりまとめ、公開、共有して他の事業体への波及を図るとともに、さらなる林業機械の開発を促進するため、新作業システム及び先進林業機械の課題及び開発ニーズ等を抽出します。

#### 3. 作業システム導入支援

新たに生産性の高い作業システムを導入することにより、コストの低減等に取り組もうとする事業体に対して、地形や林況等条件に適した作業システムを選択できるよう、高性能林業機械等のレンタル機を活用した作業手順のシミュレーション等を実施します。

### <事業実施主体>

民間団体

### <補助率>

定額

### <事業実施期間>

平成22年度～24年度（3年間）

[担当課：林野庁研究・保全課、整備課]